

最近、満天の星空をチャッチフレーズにしている高原とか離島の観光地が多くなりましたね。そこまで行かなくても首都圏からでも結構きれいな星空が楽しめます。この時期、オリオン座は中天高く輝いていて、最も見つけやすい星座です。



2020.01.21 我が家の庭先で撮影



オリオン座はギリシャ神話に出て来る狩人オリオンの雄大な姿を描いています。日本でもベルト部分の三ツ星には昔から様々な名前が付けられていて、調べてみると地域性があって面白いです。(表-1)

呼び名	地域
サンコウノタマ	北海道磯谷郡
ミツラボシ	宮城県南三陸町
サンダイシサマ	宮城県仙台市
ダンゴボシ	富山県下新川郡
サンジャクボシ	茨城県水海道
サンジンサマ	栃木県足利市
サンジョサマ	埼玉県小川町
サンバンボシ	千葉県南房総市
サンチョロサマ	千葉県山武市
サンニンボウズ	長崎県諫早

日本の星名事典より (表-1)



アルマ望遠鏡が捉えたベテルギウス

近年、オリオンの右肩にある赤い星、ベテルギウスが世界中で注目されています。この星は、今まさに寿命が尽きようとしており、太陽の1400倍にも膨れ上がって変形しているのが観測されています。最後は超新星爆発を起こして昼間でも見えるほど明るく輝く、と予想されています。昨年末から急激に光度が下がっており、その前兆ではないかと。確かに我が家の庭先で撮った写真を見ても暗くなっているのが分ります。以前は、色は違いますが、リゲルとほぼ同じ明るさでした。

いつ爆発するのか、明日か、100年後か、数万年後か、そんなことを考えながら地上のことを忘れて星を見るのも楽しいですね。